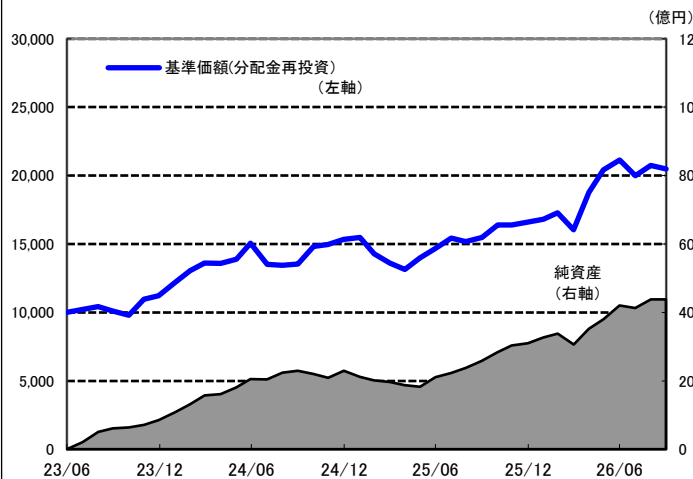


運用実績

2026年9月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日＝10,000として指数化：月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 20,455円

※分配金控除後

純資産総額 43.8億円

●信託設定日 2023年6月30日
●信託期間 無期限
●決算日 原則11月14日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-1.3%
3ヵ月	-3.1%
6ヵ月	27.6%
1年	32.3%
3年	102.6%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 104.8%

設定来累計 15 円

設定来＝2023年6月30日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2026年9月30日 現在

国・地域別配分			通貨別配分		テーマ別配分		業種別配分	
国・地域	純資産比	内先物	通貨	実質通貨比率	テーマ	純資産	業種	純資産比
アメリカ	78.3%	-	アメリカ・ドル	81.8%	新技術	31.9%	半導体・半導体製造装置	25.2%
日本	5.6%	-	日本・円	7.6%	AI/ビッグデータ	20.4%	ソフトウェア・サービス	11.0%
台湾	3.8%	-	ユーロ	5.0%	IoT/生産回帰	12.4%	資本財	9.9%
オランダ	3.4%	-	台湾・ドル	3.8%	テクノロジーの社会への普及	9.8%	メディア・娯楽	8.7%
フランス	2.1%	-	イギリス・ポンド	1.0%	高齢化社会	7.5%	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.2%
その他の国・地域	4.5%	-	その他の外貨	0.8%	その他のテーマ	15.7%	その他の業種	34.7%
その他の資産	2.3%	-	・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。		その他の資産	2.3%	その他の資産	2.3%
合計(※)	100.0%	-	・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。		合計	100.0%	合計	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

・テーマは適宜見直しを行なうため、分類が変更になる場合があります。

組入上位10銘柄

2026年9月30日 現在

銘柄	国・地域	業種	テーマ	純資産比
NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	新技術	7.4%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	AI/ビッグデータ	5.3%
MICRON TECHNOLOGY	アメリカ	半導体・半導体製造装置	新技術	4.2%
AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	AI/ビッグデータ	4.1%
BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	新技術	4.0%
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾	半導体・半導体製造装置	新技術	3.8%
NATERA INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	テクノロジーの社会への普及	3.2%
WESTERN DIGITAL CORP	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	新技術	2.7%
DATADOG INC - CLASS A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	AI/ビッグデータ	2.4%
アシックス	日本	耐久消費財・アパレル	エンターテインメント/体験型消費	2.2%
合計				39.3%

組入銘柄数：55 銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

・テーマは適宜見直しを行なうため、分類が変更になる場合があります。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

先月の投資環境

○米国:株式市場は、上旬は、FRB(米連邦準備制度理事会)理事が、インフレ圧力が落ち着いていれば金利据え置きを支持すると表明したことなどから一時上昇しましたが、中旬にかけて、8月の米PPI(生産者物価指数)によりインフレ圧力の高まりが示されたことなどが嫌気され、下落しました。その後はAI関連を中心としたハイテク株の上昇が支えとなる場面もありましたが、月末にかけては9月の米総合PMI(購買担当者景気指数)が市場予想を上回ったことを受けて米国債利回りが上昇したことから株価の割高感が意識され、下落し、月間で下落しました。

○欧州:株式市場は、上旬は、原油価格の上昇を受けたインフレ圧力の高まりによって、ECB(欧州中央銀行)の利上げ観測が強まったことや、財政リスクを意識されたフランスを中心に国債利回りが上昇したことから、下落しました。その後は、米国とイランの戦闘終結に向けた外交努力に対する楽観から上昇しましたが、月末にかけては、戦闘終結に向けた大きな兆しが見られない中で原油価格が上昇したことなどから下落し、月間で下落しました。

○アジア地域:東京株式市場は、中東情勢の悪化を受けた原油価格の上昇や国内外での金利上昇への警戒、円高進行を受けた輸出企業に対する業績懸念などを背景に、月間で下落となりました。日本を除くアジア・オセアニア株式市場は、世界的な金利上昇や原油価格の上昇や、米中首脳会談で具体的な成果が見られなかったことなどを背景として下落しました。

○為替:日銀が利上げペースを加速させるとの見方が広がったことから円高・ドル安が進行し、その後は米長期金利の上昇などに伴って円安・ドル高が進行しましたが、月末のドル・円レートは157円35銭と、月間で2円67銭の円高・ドル安となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)騰落率は-1.30%となり、参考指数であるMSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)※の騰落率を1.61ポイント上回りました。ヘルスケアセクターの銘柄選択効果がプラスに寄与した一方、情報技術セクターの銘柄選択効果がマイナスに影響しました。

※MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)は、MSCI All Country World Indexをもとに、委託会社が円換算したものです。MSCI All Country World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。なお、当該インデックスは、ファンドのベンチマークではありません。

○先月は、「IoT(モノのインターネット)/生産回帰」のテーマに関連する米国の建設・土木株の買い付けなどをした一方、「エンターテインメント/体験型消費」のテーマに関連する米国の陸上運輸株の全売却などをしました。

今後の運用方針 (2026年9月30日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国経済は、堅調に推移しています。8月の実質個人消費は前月比+0.6%と大幅増となり、同月の非農業部門雇用者数も前月差+16.2万人と高い伸びとなりました。物価面では、8月のCPI(消費者物価指数)が前年同月比+3.4%(7月も同水準)となり、エネルギー物価の上振れを背景に伸び率は高止まりしています。9月のFOMC(米連邦公開市場委員会)は、全会一致で0.25%の利上げを決定しました。FOMC参加者の経済・物価見通しは2026年を中心に上方修正されており、景気への自信を深めている一方で、物価については上振れを懸念しており、今後も物価や雇用、それに対応した金融政策の動向に注視が必要と考えています。

○株式市場では、主要企業の2026年7-9月期決算で前年同期比3割近い利益成長が予想されていますが、原油価格の上昇を受けたインフレ圧力の高まりや各国の国債利回りが上昇していることなどから、今後の業績見通しにも注目しています。一方、ホルムズ海峡の通航正常化に向けた進展状況や、各国中央銀行の金融政策、11月に予定されている米国の中間選挙の結果が経済に及ぼす影響なども注視しています。長期的な視点では、幅広い業種でAI技術の活用による生産性向上が期待され、ポートフォリオでは、企業の中長期的な戦略を精査し、成長性に対して現在のバリュエーション(投資価値評価)が割安と判断される銘柄に注目し、成長銘柄の組み入れを行なってまいります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)/ので、基準価額は変動します。したがって、元金保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.803%(税抜年0.73%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

＜受付時間＞営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

＜委託会社＞野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

＜受託会社＞野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ラップ専用・世界株式アクティブ(グローバル・マルチテーマ)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。